

【参考】中間成果発表③

「デジタルコンテンツへの印象語(感性メタデータ)を付加する処理の研究開発」 研究代表者:北海道大学大学院 教授 長谷山 美紀 氏

◆研究目的

映像コンテンツに対して、従来のメタデータに加えて、印象をキーワードとする感性メタデータを、映像の解析データに付加する技術開発を行うことを目的とする。

◆研究開発の概要

映像系コンテンツの検索方法は特定キーワード(視覚的な情報等)とした検索に限定されており、ユーザーの嗜好や志向が多様化する中、これに応える技術開発が期待されている。

本研究では、この問題を解決し、地域における新規映像ビジネスを創出すべく、ユーザー参加型映像視聴システムを導入し、人間が持つ直感的なニュアンス(暖かい等の主観的概念カテゴリ)を現す感性メタデータの自動付与技術を開発する。

◆期待される研究成果及びその社会的意義

本研究開発によって、印象語という新たなキーワードによる検索手法が実現すれば、映像コンテンツの利活用増大につながり、文化的芸術的活動の活性化と併せて、新規ビジネスの創出に寄与するものと考え、社会的意義は大きい。

